

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「重度化や終末期に向けた方針の共有と支援」職員は最期までこのホームで過ごしてもらいたいと思っているが、医療面での課題も多く不安を抱えているため、この不安を解消しチームによるスキルアップが課題である。	入居者によって、心身の状況や、疾病、本人、家族の意向など個々に違いがあるため、事前の十分な意思疎通を図ると共に、職員のチームワークや一定レベルの知識・技術の共有ができるようにする。また、医療機関との連携もスムーズに図れるようにする。	個々の違いに対応できる様に、柔軟なマニュアル作りに努める。医療的な知識や技術の獲得のために職員研修の機会を独自でもうけると共に、外部研修の機会があれば職員の参加を促す。医療機関との連携を深めるために、日頃、訪問看護師を媒介に主治医への情報提供などを行っていく。また、必要に応じて往診の依頼も行う。	12 ヶ月
2	35	「災害対策」 災害時の地域との協力体制の強化	いざという時に、近隣や地域の方々に効果的に協力をいただけるようにする。地域の方との合同防災訓練の実施を目指す。	日常の近隣との交流などは、継続すると共に、効果的な支援をいただく為に、役割の検討を行う。運営推進会議のメンバーにも地元区長さんや民生委員さんに加わっていただいているので、地元の防災訓練への参加などの検討をしていただく。また、現在富士根南地区において、要援護者見守りネットワーク作りの動きがあり、その対象の施設として、災害時における支援をお願いしていく。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。